

生きている。

600年受け継がれた技を持つ狂言師、
夏の夜に灯す薪、
そして期待あふれる聴衆の息づかい。

野村万作 薪狂言の会



演目 狂言「二人大名 ふたりだいみょう」
狂言「花折 はなおり」

出演

野村万作
野村萬齋
石田幸雄
深田博治
高野和憲
月崎晴夫
ほか

2011.9.6 |火| 開場18:30 開演19:00

黒部市国際文化センター コラーレ | 野外能舞台 |

一般 6,000円 高校生以下 2,000円 障がい者手帳をお持ちの方 5,000円

□当日は18時20分に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入りいただきます。チケットはコラーレだけで発売いたします。
◎この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。 ◎未就学児の入場はご遠慮願います。 ◎公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。
◎雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。天候によっては、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

|主催| 財団法人黒部市国際文化センター |協賛| チューリップテレビ |後援| 黒部市 黒部市教育委員会

 コラーレ

富山県黒部市三日市20番地 Tel.0765-57-1201 Fax.0765-57-1207 www.colare.jp [開館時間] 9:00~22:30 (土曜~23:00) / 毎週水曜休館

狂言は、人間賛歌の劇。

今年もコラーレの薪狂言の季節になりました。3月に東北は未曾有の震災に見舞われ、今も復興に尽力されています。黒部の美しい自然環境に囲まれたこの公演を思うに、震災にあわれた皆様にも、穏やかに暮らせる日常が戻ることを願ってやみません。

狂言は、人間賛歌の劇と言われます。600年もの昔から、日々起こる些細なできごとを笑って見つけてきた人間のたくましい姿があります。生きていくことのすばらしさを、皆様と共に実感できれば、この上もなく嬉しく思います。今回の「二人大名」「花折」は、舞歌の要素の豊富な演目でもあります。中世の歌謡の楽しさも併せてご鑑賞ください。

野村万作



野村万作

狂言師



闇に浮かび上がる能舞台、
水面に揺らめく二本のかがり火、
野村万作・萬斎親子が舞い謡う――。



一九三二年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。狂言の秘曲である「釣狐」の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞など、多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ大、ワシントン大では客員教授を務める。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、代表作に「月に憑かれたピエロ」「子午線の祀り」「秋江」「法螺待」などがある。著書に「太郎冠者を生きる」(白水社)、「狂言三人三様・野村万作の巻」(岩波書店)がある。

野村萬斎

狂言師

一九六六年生。野村万作の長男。祖父・故六世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言でざる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞等を受賞。著書に「萬斎でござる」「MANSAI◎解体新書」(朝日新聞社)、「狂言三人三様・野村萬斎の巻」(岩波書店)等がある。世田谷パブリックシアター芸術監督。



石田幸雄

狂言師

一九四九年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。「雙ノ会」主宰。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。大曲の「三番叟」「釣狐」「花子」をすでに初演。また新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多い。普及公演での的確な解説にも定評がある。「万作の会」の海外公演にもたびたび参加。日本大学芸術学部、学習院大学非常勤講師。「雙ノ会」で二〇〇六年度芸術祭大賞を受賞した。



深田博治

狂言師

一九六七年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」等を披き、「万作の会」の演者の一人として活躍している。

高野和憲

狂言師

一九七二年生。野村万作に師事。国立能楽堂・能楽三役第四期研修修了。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。すでに「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」等も披き、「万作の会」の演者の一人として活躍している。

月崎晴夫

狂言師

一九六四年生。野村万作に師事。能楽協会会員。万作一門の若手研鑽会「狂言ざん座」同人。「奈須与市語」「三番叟」を披くなど狂言の舞台に出演する一方、舞台「子午線の祀り」「国盗人」にも出演。「万作の会」の演者の一人として活躍している。

薪狂言 番組

解説 石田幸雄

火入れの儀

狂言 二人大名

ふたりだいみょう

野遊びに出た二人の大名が、太刀を持たせるお供の者を探そうと海道で待っていると、使に行く男が通りかかったので無理矢理太刀を持たせる。はじめはしぶしぶ従っていた男だが、不意に太刀を抜いて大名たちを脅し、小刀や素袍を取り上げてしまう。男の言うなりになった二人の大名は……。

次第にエスカレートしていく男の要求に二所懸命応える大名の姿が、哀しくも可笑しい作品です。曲中には物真似や小歌など様々な中世の遊興が登場します。コンビネーションの妙とともにお楽しみ下さい。

通りの者 野村万作

大名 高野和憲
大名 深田博治

狂言 花折

はなおり

新発意(仏門に入って間もない者)が、住持から留守番と庭の満開の桜の番を言いつけられる。早速花見の客がやってくるが、新発意が中に入れないので仕方なく垣根の外で酒宴を始める。酒が気になる新発意が一人を庭に入ると、皆ついて入ってきてしまい、結局新発意も加わつての花見となる。次々と謡い舞ううち、すっかり気分が良くなった新発意は……。

新発意と大勢の花見客とが謡い舞う姿は賑々しく、桜の作り物も華やかな演目です。ともに酒宴を楽しむような気分でお楽しみください。

新発意 野村萬斎

住持 石田幸雄
立衆 深田博治
立衆 高野和憲
立衆 月崎晴夫
立衆 中村修一
立衆 岡 聡史